

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案資料等について評価の視点をもとに評価した点を合計したものを審査点（100点満点）とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案が複数ある場合は、審査員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の1名以上が内容点の評価項目のうち1項目でも評価点0点とした場合または審査点が50点未満の場合は失格とする。

1. 評価項目等

評価項目、評価の視点及び配点は、次のとおりとする。

評価項目		評価の視点		配点
取組の実現性	経営状況	①	・会社規模、財務状況、業務実績等から、提案された内容の実現が可能と判断できるか。	5
	業務実績等	②	・本業務と同種又は類似の業務実績を有し、本業務に関して優れた遂行能力を期待できるか。	5
業務実施体制	本業務遂行のための体制	③	・組織体制や人員、デザイン分野に関する専門的知識を有する者の配置など、業務を実施する上での体制が十分確保されているか。 ・確実に業務遂行が可能なスケジュールとなっているか。	10
企画提案内容	企画全体設計	④	・本委託事業の目的を十分理解した提案になっているか。 ・仕様書に示した業務水準に加えて、新たな視点や業務目的をより効果的に達成し得る提案等がなされているか。	10
	本県地場産業における現状把握・課題の整理	⑤	・本県地場産業に関する調査方法について、具体的な調査項目や手法が示され、複数の事業者に聞き取りを行うなど、課題を的確に抽出するための効果的で有用な提案となっているか。	10
	産業技術センター内デザイン技術部の調査・課題整理	⑥	・産業技術センター内デザイン技術部の機能等の把握や課題の整理について、具体的な手法が示され、必要に応じて現職員に聞き取り調査をするなど、効果的で有用な提案となっているか。	10
	先進事例調査	⑦	・本業務の目的を達成するために適切な調査対象が提案されているか。 ・先進事例調査・分析の方法において、具体的な手法が示され、必要に応じて専門家へのインタビューや調査対象の現地視察・インタビューを行うなど、豊富な情報を収集するための効果的かつ有用な提案がなされているか。	10
	ニーズの調査・分析	⑧	・ニーズを正確に把握し、デザインセンターに求められる役割を整理するための具体的な手法が示され、有用な提案がなされているか。	10

(別紙)

必要な機能、運営体制等の調査・検討	⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の課題やニーズ等の調査・分析結果を十分踏まえ、本業務の目的を達成するために有用な手法が示されているか。 ・仕様書に記載した「必ず必要な機能」における検討について、具体的な手法を示した上で、有用な提案となっているか。 	10
デザインセンターの提案	⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインセンターに求められる機能、人員体制、施設整備等の提案に向けた調査・検討手法について、有効な提案になっているか。 ・地場産業界、多摩美術大学、県立美術館の効果的な連携内容の整理手法について、有効な提案となっているか。 	10
価格	⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・最も低い費用の提案者を10点とし、以下の計算式で点数を計算する。 点数 = 10 × 最低価格 / 見積価格 (小数点以下四捨五入) 	10

[審査点 合計100点]

2. 評価の基準

	10点配点	5点配点
特に優れている／特に期待できる	10点	5点
優れている／期待できる	8点	4点
標準的である	6点	3点
やや劣る／あまり期待できない	4点	2点
劣る／期待できない	2点	1点
要求基準を満たしていない	0点	0点